

沿革

(1) 上都賀学館

明治36. 5 本校は鹿沼市西鹿沼に創立された私立上都賀学館に発祥する

(2) 上都賀郡立農林学校

明治42. 4 栃木県上都賀郡立農林学校として開校、花岡の地に移転する

大正10. 4 栃木県立実業学校として設立許可、農業科を開設する(創立記念日4月12日)

11. 4 商業科を併置し定員300名となる

(3) 鹿沼農商学校

大正11.11 栃木県立鹿沼農商学校と改称する

11.12 商業科を5年制度とし、定員400名とする

昭和 3. 4 農業科を廃止、翌年復活する

16. 4 農商両科共に2学級増加し、定員800名とする

19. 4 商業科を本科農業科及び林業科に募集転換する。従来の農業科を第2農業科と改称する

22. 4 6・3制実施に伴い併設中学校を開設する

(4) 鹿沼農商高等学校

昭和23. 4 新学制実施により鹿沼農商高等学校となり、全日制課程、商業課程及び定時制農業課程、商業課程、夜間商業課程をおく

24. 4 定時制豊岡分校を開設し、農業課程及び農村家庭課程をおき、各20名を募集する

25. 4 全日制に木材工芸課程を開設する。定時制南原分校及び落合分校を開設する。各20名募集する
木材工芸課程と林業選択制を併せて木工課程とする

28. 4 木工課程を木材工芸課程及び林業課程に変更する

定時制栗野分校を開設し、農業、農業家庭、商業課程をおく

29. 4 定時制南押原分校に商業課程をおく

32.10 本館改築を竣工する

33. 4 全日制課程商業課程1学級増、男女150名募集とする

34. 4 定時制栗野分校を全日制栗野分校とする。定時制豊岡分校農村家庭課程を家庭課程に改称する

35. 4 全日制課程木材工芸課程募集定員20名を男女30名に改める。栗野分校及び落合分校農村家庭課程を家庭課程に改める。栗野分校商業、家庭課程共に募集定員20名を40名に改める

35. 9 南押原分校の位置変更を行い、鹿沼市磯町368番地に移転する

36. 4 定時制夜間商業課程を男女募集に改める

37. 4 全日制家庭技芸課程家庭科を新設し、50名を募集する。木材工芸科募集定員30名に改める。定時制落合・豊岡両分校を中心地に統廃合し農村家庭科を家庭科に改める

38. 4 全日制商業科1学級増、男女200名募集する。新教育課程の実施により、木材工芸科を工芸科、家庭科を家政科と改称する

39. 4 全日制商業科定員を男150名、女50名とする

40. 8 全国高等学校野球選手権大会(甲子園)に出場する

41. 4 全日制栗野分校商業科を1学級増、男女100名募集とする

41.11 創立60周年体育館兼講堂落成記念式典を挙げる

42. 4 全日制栗野分校が独立し、栃木県立栗野高等学校として発足する

42. 8 全国高等学校野球選手権大会(甲子園)に出場する

43. 4 全日制農業科80名、商業科男144名、女48名、工芸科40名、家政科48名募集と改める

45. 4 全日制商業科男138名、女46名に改める。鹿沼市みなみ町において分離農業高校起工式を挙行し、新設工事に着手する

46. 4 全日制商業科男135名、女45名に改める。定時制夜間商業科1学級増、男女80名募集とする

(5) 栗野高等学校

昭和28. 4 栃木県鹿沼農商高等学校栗野分校(定時制課程)として栗野町栗野第一小学校に併置開校する

30. 8 栗野町(現鹿沼市)口栗野に新校舎を新築する

34. 4 栗野分校(全日制課程)となる

42. 4 栃木県立栗野高等学校として創立する。定員は商業科100名、家政科50名となる

43. 4 制服を制定する(男子詰襟学生服・女子セーラー服)
校歌を制定する。作詞は生井武司氏、作曲は鈴木満雄氏

44. 3 体育館兼講堂を竣工する

44. 9 校旗樹立式を行い、校旗を制定する

50. 4 商業科を普通科に学科転換する

50.11 創立後初の学校祭が一般公開で行われる

51. 3 柔剣道場を竣工する

52.10 分校開設25年・栗高設立10周年記念式典を挙げる

54. 7 4階建ての普通・特別教室棟を竣工する

56. 3 校庭を拡張する

56. 5 県教委から「特色ある学校づくり推進校」の指定を受ける(～昭和57年)

- 57. 5 県教委から教育機器利用モデルスクールの研究指定を受ける(～昭和58年)
- 58. 3 管理・特別棟を竣工する
- 59.12 弓道場を竣工する
- 60. 1 門柱・門扉を竣工する
- 61. 9 電算室を改装する。国旗掲揚塔を新設する
- 61.12 夜間照明・防球ネットを新設する
- 62. 6 文部省から「体力づくり推進校」の指定を受ける(～平成1年)
- 62. 7 洋式庭園を竣工する
- 62.10 鹿沼輪舞観光事務所により町有林落石防護柵を竣工する
分校開設35年・栗高設立20周年記念式典を挙げる
- 62.11 テニスコートを竣工する
- 63. 4 家政科を普通科に学科転換する。定員は141名となる
制服を制定する(新1年生よりブレザー型)
- 平成 1. 2 弓道部の一部改修工事を完了する
- 1.10 文部省指定「体力づくり推進校」公開研究発表会を開催する
- 2. 3 校庭南側に防球ネットを新設する
- 4. 3 自転車置場前の舗装工事を完了する
- 4. 5 県教委から「活力ある高校づくり推進事業」の指定を受ける(～平成5年)
- 4. 7 各教室にビデオモニターを設置する
- 5. 5 県教委から「同和教育研究指定校」の指定を受ける(～平成6年)
- 6.11 11年ぶりに一般公開による学校祭「青清祭」が行われる
- 8. 4 普通科の募集定員が120名となる
- 8. 5 県教委から「高等学校個性化アクションプラン推進事業」の指定を受ける(～平成9年)
- 8. 7 各教室のビデオモニターを同一回線で連結する
- 9. 4 制服の一部を改定する(新1年生よりノーネクタイ)
- 9.10 分校開設45年・栗高設立30周年記念式典を挙げる
- 10. 9 電算室を整備する
- 12.12 公共下水道に接続する
- 16. 3 栗野高等学校再編計画が決定される
- 19. 5 文部省から「特別支援教育体制推進事業」の研究指定を受ける
- 19. 6 栗高・鹿農高新校設立準備委員会を設置する
- 19.10 分校開設55年・栗高設立40周年記念式典を挙げる
- 20. 4 最後の新入生52名が入学する
- 20. 5 県教委から「主幹教諭の設置に関する調査研究」の指定を受ける(～平成21年)
- 21. 9 日本新聞教育文化財団からNIE実践指定校に認定される(～平成22年)
栗野高等学校閉校記念事業実行委員会を設立する
- 23. 3 栗野高等学校閉校式を挙げる
- (6)鹿沼農業高等学校
- 昭和47. 4 栃木県立鹿沼農商高等学校を分離し、栃木県立鹿沼農業高等学校として現在地の鹿沼市みなみ町に開校する。募集
定員は農業科男80名、園芸科男40名、林業科男40名、生活科女80名、南押原分校農業科男女20名
- 47. 6 栃木県立鹿沼農業高等学校開校式を挙げる
- 48. 5 体育館兼講堂が落成する
- 48. 8 校旗樹立、校歌制定式を挙げる
- 49. 4 農業科1学級を学科転換し、造園科1学級を募集する。募集定員は農業科40名、園芸科40名、林業科40名、生活科80
名
- 52. 4 本校及び南押原分校において推薦入学制度を実施する(農業科、園芸科、生活科)
- 53. 4 農業科、園芸科の一括募集を実施する
- 55. 4 創立70周年並びに校舎落成記念式典を挙げる
- 農業、園芸、林業科を男女募集とする
- 55.10 国民体育大会の弓道場会場となる
- 56. 4 林業科、造園科で推薦入学制度を実施する。定時制南押原分校農業科を募集停止する
特色ある学校づくり推進校に指定される(～昭和57年)
- 57. 3 南押原分校閉校式を挙げる
- 57. 4 南押原分校閉校に伴い、本校に昼間定時制として併置となる。募集定員は農園科64名、林業科33名、造園科37名、生
活科40名
- 59. 3 定時制課程廃止となる。募集定員は農園科80名、林業科35名、造園科40名、生活科80名
- 59. 5 県教委から優良学校(特色ある学校づくり)を受賞する
- 62. 4 農業、園芸、林業科を学科再編し、農業経営科 男女80名募集とする
- 63. 5 県教委から「性に関する指導」研究校に指定される
- 63. 7 「献血」協力により厚生大臣より表彰を受ける
- 63.11 農業クラブ全国大会プロジェクト発表(農林経営の部)で最優秀となり、文部大臣奨励賞を受賞する
- 平成 1. 1 栃木県学校環境緑化コンクール最優秀賞を受賞する
- 1. 2 全国学校環境緑化コンクール「特選」に入賞する

1. 4 学科再編により、農林経営科40名、農業機械科40名、造園土木科40名、生活科80名募集とする。制服を制定する(ブレザー型)
 - 1.10 創立80周年並びに分離開校20周年記念式典を挙げる
 2. 3 タイムカプセルを埋設する
 2. 4 学科再編により生活科を生活科学科と改称する
 4. 4 生活科学科40名募集とする
 5. 4 県教委から「活力ある学校づくり」推進校に指定される(～平成6年)
 5. 6 文部大臣が農業教育視察のために本校を訪問する
 5. 7 平5総体の草花装飾に協力する
 7. 2 文部省から調査統計功績校として表彰を受ける
 - 7.11 農業クラブ全国大会「農業情報処理競技会」の会場となる
 9. 4 県教委から同和教育研究校に指定される(～平成10年)
 10. 4 造園土木科と生活科学科でコース制を導入する
 10. 8 郷土芸能同好会が第22回全国高文祭に参加し、文化連盟賞を受賞する
 - 11.11 創立90周年記念式典を挙げる
 12. 7 郷土芸能部が第2回ワールドフォークロリアードに出場する
 - 12.10 農業クラブ全国大会鑑定競技会(農業機械の部)で最優秀賞を受賞する
 - 13.10 郷土芸能部が第25回全国高文祭に出場する
 - 14.10 郷土芸能部が第17回国民文化祭とっとり2002に出場する
 - 15.10 郷土芸能部が第18回国民文化祭やまがた2003に出場する
 16. 7 郷土芸能部が第28回全国高文祭に出場する
 17. 7 北校舎耐震工事を竣工する
 - 17.11 ファームフェスタ2005で一等三席に入賞する
 18. 4 文科省から「学力把握に関する研究校」に指定される(～平成19年)
 - 18.11 郷土芸能部が第60回記念県芸術祭賞(民謡、民舞部門)を受賞する
 19. 8 郷土芸能部が第31回全国高文祭に出場する
 - 20.11 創立100周年記念式典を挙げる
 - 農場管理棟・調理実習室等再編改修工事を竣工する
 - 20.12 南校舎耐震工事を竣工する
 21. 1 栃木県条例第56条により栃木県立鹿沼農業高等学校の地に栃木県立鹿沼南高等学校を設置する
 22. 4 県肉牛後継者、農業高校枝肉研究会農高の部で最優秀賞を受賞する
 - 22.10 農業クラブ全国大会鑑定競技会(農業機械コース)で最優秀賞を受賞する
 23. 3 栃木県立鹿沼農業高等学校第100回卒業式、閉校式を挙げる
- (7)鹿沼南高等学校
- 平成21. 1 栃木県条例第56条により栃木県立鹿沼農業高等学校の地に栃木県立鹿沼南高等学校を設置する
21. 4 栃木県立鹿沼南高等学校を開校する。普通科80名、食料生産科40名、環境緑地科40名、ライフデザイン科40名を募集定員とする
- 栃木県立鹿沼南高等学校開校式を挙げる
22. 9 体育館耐震工事を竣工する
23. 3 屋外トイレ新築工事を竣工する
23. 7 高校野球連盟から「フェアプレー賞」を受賞する
24. 2 鹿沼南高等学校同窓会が発足する
24. 7 陸上部がインターハイに出場する
24. 8 吹奏楽部が全国高文祭富山大会に出場する
25. 8 陸上部がインターハイに出場する
- 25.10 吹奏楽部が東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞する
- 27.10 第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に出場する
29. 1 第72回国民体育大会冬季大会スケート競技会に出場する
- 30.11 創立110周年記念式典を挙げる
- 令和 1. 7 普通教室棟空調設備設置工事を竣工する
- 1.11 第1回全国高校生農業アクション大賞で大賞を受賞する
- 2.11 第4回和牛甲子園大会枝肉評価部門優秀賞を受賞する
3. 4 普通科1学級減により、普通科40名、食料生産科40名、環境緑地科40名、ライフデザイン科40名を募集定員とする
7. 1 畜産JGAP(日本版農業生産工程管理)の認証を取得する(高校では県内初)
7. 4 普通科募集停止により、食料生産科40名、環境緑地科40名、ライフデザイン科40名を募集定員とする